

# 4 学年 「総合的な学習の時間」 実践報告

東雲小学校 山縣 重人

## 1 単元名 調べて発表しよう ごみの学習から見つけたぎもん

### 2 単元について

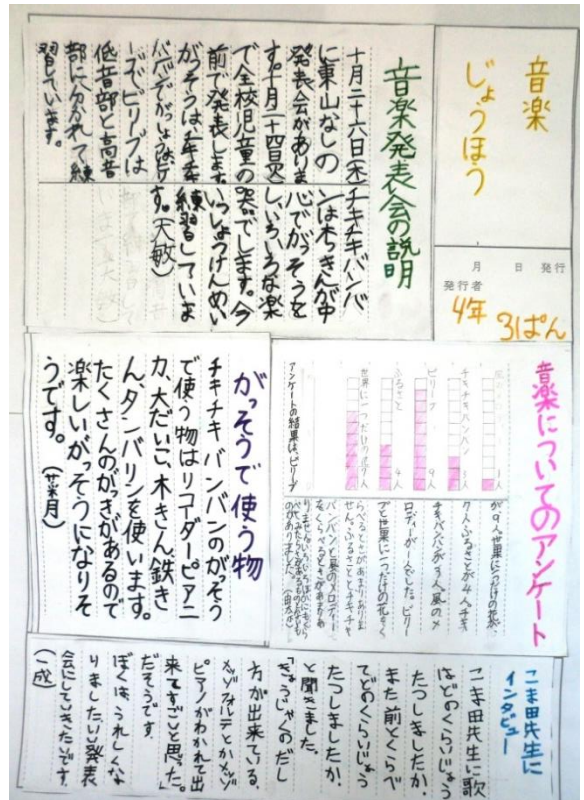
子どもたちは、3年生の総合的な学習の時間で、ブドウの観察をしたり、姿を変える食べ物を、本を使って調べたり、福祉施設にビデオレターを送ったりしてきた。4年生では、1学期に、インターネットを使って、遠足や社会科見学で訪れる場所を調べるなど、簡単な操作について学習してきた。

本校の総合的な学習の時間の指導計画では、4年生に、「環境」を題材として取り上げ、学習を進めていくことが位置付けられている。しかし、3年生で身近な課題をもとに総合的な学習を進めていたところからいきなり、温暖化などの地球規模の環境問題の学習では、言葉自体を知っている児童はいても多くの児童にとっては予備知識がなく、難しい学習になることが予想される。3年生の積み重ねとしての4年生の学習なので、子どもたちに興味を持たせ、調べ方や発表の仕方をレベルアップさせるとともに、総合的な学習の時間の楽しさを味わわせたい。

そこで、この単元では、1学期に社会科で学習した「ゴミはどこへ」をもとにして、さらに調べてみたいことを見つけ、調べ、まとめ、発表するという学習を行いたい。社会科で行った甲府峡東クリーンセンターの見学では、ごみ処理の様子を食い入るように見つめたり、説明して下さる方の話をよく聞いたりしてたくさんのお話をメモし、その後の学習に役立てる様子が見られた。子どもたちは、きっと興味を持って学習に臨むであろう。また、パソコンの扱いについては、多くの児童が、ローマ字入力にたどたどしさがあるが、関心を持っている。あまり重きは置かないが、インターネットも調べる一つの方法として理解させたい。調べたことをまとめるにあたっては、1学期に国語の「新聞をつくろう」で学習したことを生かし、壁新聞になるようにまとめる。そして、それを拡大し、掲示しながら発表し、学習の成果を共有できるようにしていきたいと考えている。

新しく行うこととして、今回は、調べていく過程で、毎時間最後に、「今日、学習したこと」「次の時間にすること」を書くようにする。決められた時間の中で子どもたちが、計画的に活動できるように意識することは物事を実行するための見通しつながるからである。初めは指導し、できるよう人はったら任せていくようにしたい。

### 3 児童の実態



男子13名、女子9名、計22名の学級で、明るく元気なクラスである。仲の良い友だち関係のある児童もいるが、誰とでも楽しく話をしたり活動したりすることができる。学力差は比較的少なく、算数の授業では、練習問題等を時間内に終えることができる。しかし、理由を述べたり、説明をしたりすることに積極的に挙手し、分かりやすく話せる児童は5、6名ほどである。NRTの結果からは二次支援を必要としている児童が、3割ほどいるので、考えを交流する場面や図示、例示を大切にしたい。



Q-Uの結果では、「ゆるみのみられる学級集団」と判断されている。学級レクなど自分たちで考えて、教師がいなくても活動することができるが、何人かの児童が先生や友達の話を聞いていなかったり、自分の周囲だけを見て行動したりするので、しっかり活動したい児童にはやや不満がある。学級全体で活動できたときには、ほめたり、話をする時には、確認しながら話をしたりすることを続けてきた。

《総合アンケートの結果》

①. あなたは、総合の学習が好きですか。○をつけ、わけも書いてください。

すき 17人

・いろいろなことをするから。9人	・調べるのが好きだから。2人
・ビデオレターがおもしろかった。1人	・コンピュータで学習できるから。6人

ふつう 4人

・いろいろなことが学べる。	・ローマ字があまり打てないから。
・苦手なものもあるし、好きなものもあるから。	・楽しいことができるから。

きらい 1人

・意見を言うのがきらいだから。
-----------------

②. あなたが好きな学習に○をつけてください。

・調べることを決める学習 2人	・自分で調べる学習 8人
・友だちと調べる学習 14人	・調べたことを紙や新聞にまとめる学習 8人
・友だちやみんなに発表する学習 6人	・友だちの発表を聞く学習 8人

③. 1学期の社会の「ごみはどこへ」学習で、おぼえていることを2つ書きましょう。

・クリーンセンターの見学 8	・ゴミ収集車が行くところ 2
・細かくくたく。2	・むかしはごみをうめてた。
・ごみはさいごには土の中にうめられる。2	・ゴミはもやしてはいにする。3
・はいがアスファルトになる。	・ごみは出さないことができない。2
・ごみを分けること。ごみの種類。4	・ゴミはふえている。
・ゴミをへらすようにする。	・リユースリデュースリサイクルがある。5
・スラグ	・ラベルやキャップは人間が分けてた。

④. 友だちやみんなに発表する時は、何に気をつけるとよいか書きましょう。

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の顔を見る。2人</li> <li>・まちがえないようにする。3人</li> <li>・読む速さに気をつける。</li> <li>・わかりやすくまとめて言う。</li> <li>・はっきりわかりやすくみんなに届くように。5人</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で言う。7人</li> <li>・「。」や「、」に気をつけて言う。</li> <li>・資料を見せながら言う。</li> <li>・ふざけない。</li> </ul> |
|---|---|

⑤. 知りたいことを調べるのには、どんな方法があるか書きましょう。

- |       |          |              |            |
|-------|----------|--------------|------------|
| ・パソコン | 人（家族）に聞く | ・図鑑，国語辞典をひく。 | ・教科書や本を見る。 |
|-------|----------|--------------|------------|

アンケートの結果から、4年生のほとんどの児童に、総合的な学習の時間は好まれており、特にパソコンを使って調べることと、活動が多岐にわたることに挙みを持っている。

調べることについては、今まで、「国語辞典でひくこと」から始め、本を多く使ってきた。3～4年生の1学期は、インターネットをあまり使わなかったが、今回は使う時間を確保する。また、国語「調べたことを整理し、発表しよう『だれもが関わり合えるように』」でも使用し、少しでも慣れさせるようにしておく。ローマ字入力にもどかしさを感じている児童には日本語入力を使うようにさせ、パソコンが調べ方の一つということも指導したい。また、知っている人（クリーンセンターの方や環境政策課の方）に、ファックス等で聞くということも調べ方の一つであるので、つながりを作り、できるようにしておきたい。

発表については、以前から本校で取り組み、教室に掲示されている「話し方」「聞き方」を復習し、メモを作って練習させてから行いたい。

#### 4 目標

社会科で学習した「ゴミはどこへ」から、さらに調べてみたいことを見つけ、興味を持って調べ、身近な生活の中のごみ処理の工夫に気付き、環境を大切にすることを養う。

《東雲小の教育から》 環境問題について考えよう【環境】25時間

- ・環境問題の解決や環境の保全、よりよい環境づくりなどをめざした地域の人々の活動や取り組みについて知り、自分たちにできる方法で実践しようとする。
- ・<コンピュータ> ・インターネットへの接続 ・プリンタの印刷

#### 5 子どもにつけさせたい力

東雲小 総合的な学習の時間で身につけさせたい力

##### 【探究する力】

- |                                     |                   |
|-------------------------------------|-------------------|
| ・問題点に気づく。                           | ・やりたいことを決める。      |
| ・すること、会う人考えて計画を立てる。                 | ・ねらいを持って意欲的に活動する。 |
| ・詳しい人をさがして聞く。                       | ・本や資料で調べる。        |
| ・分かったことを整理してまとめる。                   |                   |
| ・よいところ、工夫したほうがよかったところを記録し、次の活動に生かす。 |                   |

##### 【かかわり合う力】

- ・相手の思いを知ろうとする。

##### 【表現する力】

- ・見る人聞く人のことを考え分かりやすく伝える方法を考える。・場所や相手のことを考えて話ができる。

#### 6. 自主編成におけるカリキュラムの工夫

- ・学習した内容をもとに課題を見つけることによって、興味関心を持たせるとともに、既習内容と結びつけるようにする。
- ・本やインターネットなどを使って調べるだけでなく、詳しい方に聞いたりする調べ活動を行う。
- ・調べ活動が計画的になるようにできるように、「今日すること」「反省」を、カードを使って行う。
- ・一学期に国語で学習したことを使って、新聞形式にまとめる。発表では、まとめたことをそのまま読むのではなく、発表メモを作り、指示しながら発表する。また発表の最後に内容と関連のあるものを用意するなどして発表を工夫させる。
- ・学習のまとめとして、活動してきたことを、振り返る時間を作る。

## 7 主な学習活動と経過

	学習活動 全12時間	指導上の留意点
第一次 計画 3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゴミはどこへ」の学習時のノートやプリントを見ながら関心を深める。</li> <li>・クリーンセンターを見学した時のことを思い出す。</li> <li>・ごみ処理についてのお話を甲州市環境政策課のかたから聞く。</li> <li>・ウェビングして課題を見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境政策課の方と打ち合わせを行い、「ごみの分別やリサイクルの大切さ」についての話にしていただく。</li> </ul>
実際 2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前もって環境政策課の方と電話で打ち合わせを行った。クリーンセンターの見学で聞いたことと内容が重複するとのことだったので、どのようにリサイクルされるのかを話して下さるようお願いした。</li> <li>・当日はパワーポイントを使っての説明と分別クイズで、時間が少なくなってしまった。再生されたアルミやプラスチックは見せていただいたが、細かい説明をしていただく時間はあまりなかった。児童から「なぜペットボトルの中を洗うのですか。」という質問が出され、「異物が入るとリサイクルしても、もろくなってしまうから。」と答えていただいたが、さらに、「リサイクルされても違うものが紛れ込んでいると、もと同じものにはならないんです。違うものが入るとアルミやスチールはだんだんもろくなってしまっって同じものにはならない。だから分別が大切なんです。」と教えていただいた。</li> <li>・クリーンセンターでいただいたパンフレットや社会のノートを見ながら、ウェビングを行った。一つの言葉から次の言葉につなげながら行うように指導したが、思いついたものをそのまま書く児童が多かった。黒板でおおまかにまとめ、その中から調べてみたい課題を3つ選んでプリントに記入させた。ペットボトルに関わるものが多かった。(ペットボトル ラベル キャップ)</li> <li>・すべての課題をチェックして、おおよそ調べ、3つの中からできそうなものをあらかじめ1, 2選んでおいた。図書の時間に、一人一人と話をしてから課題を決定した。しかし、似たような課題でも、グループで活動するのではなく、自分で調べたい、書きたいという児童がほとんどだったので、それぞれで調べさせることにした。</li> </ul>	
第二次 計画 3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の人に聞く。</li> <li>・インターネットや本、事典で調べたり、詳しい方(クリーンセンターの方や環境政策課の方)に聞いたりして必要な情報を収集する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ課題になった児童でグループを作り、共同で課題を調べ、解決していくようにする。</li> <li>・本については司書の先生にも協力をお願いする。</li> <li>・分からないことを詳しい方に聞けるようにしておく。</li> </ul>

<p>実際 4時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を解決するために、パソコン室で、インターネットを使って調べることにした。また、司書の先生にお願いして、児童の課題に関係のありそうな本を用意していただき、それらをパソコン室内に置いて、紹介し、自由に見られるようにしておいた。調べ学習の中心になったのはインターネットの「小学生のための環境リサイクル学習ホームページ」だった。小学生でもわかるように書いてあるので読みやすく、ほとんどの児童が利用していた。</li> <li>本と併用する児童も数名いた。「粗大ごみ」「最終処分場」を課題としている児童は、「環境とリサイクル全12巻 小峰書店」を利用していた。）</li> <li>タイムリーな課題「富士山のごみ」「パソコン携帯の処理」「ペットボトルキャップ」は「小学生のための環境リサイクル学習ホームページ」に掲載がなく、児童自身で調べるのが難しそうだったので、児童が探し当てたものを読んで説明したり、簡単そうなサイトや資料をあらかじめ見つけておいたりした。「富士山のごみ」は、調べる2、3日前の新聞にも載っていたので、紹介し、その記事も利用させた。</li> <li>どうしても課題を解決する方法が見つけれない児童、見つけても何を書いたらよいかわからない児童には、資料の中から書くところをアドバイスした。</li> <li>環境政策課の方のお話から「リサイクルし続けることはできるのか」を課題にした児童は、クリーンセンターと環境政策課の方にファックスを送り、返事をいただいた。ただ、環境政策課からの返事はていねいだったのだが、遅かったので使うことができなかった。</li> <li>1時間目に「今日、学習したこと」「次の時間にすること」のプリントを書いたが、次に何をしたらよいかわからない児童が多く、うまく使えなかった。</li> </ul> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>★ 今日 学習したこと</p> <p>絵や図も 見つけてみま</p> <p>★ 次の時間にすること</p> <p>コピーする かきものをか</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>★ 今日 学習したこと</p> <p>木のゴミは、リサイクルして木片を燃やして出さず、 木のクリーンセンターに出す</p> <p>庭木のほぶく えまで せがしてみま</p> <p>★ 次の時間にすること</p> <p>くさった)いるものはとら</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>★ 今日 学習したこと</p> <p>ペットボトルきれいにあらってリサイクルするのが 分かった。</p> <p>絵や写真 グラフをせが みま</p> <p>★ 次の時間にすること</p> <p>もろに分かりやすく書く。</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>★ 今日 学習したこと</p> <p>小学生のための 環境学習ページを 見ま</p> <p>★ 次の時間にすること</p> <p>写真見つけた。</p> </div> </div>
<p>第三次 計画 3時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かったことを工夫して新聞にまとめる。</li> <li>発表メモを作る。</li> <li>分かったことを発表できるように、いらぬ紙の裏などを使い、まとめる。</li> <li>発表メモを作って練習させる。</li> <li>全員の仕上がりを確認する。</li> <li>遅れてしまっている場合は個別に指導する。</li> <li>書いている内容をよく確認する。</li> </ul>

<p>実際 5時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を、どのように書くのか分かりやすくするため、このくらいは書いてほしいと思う新聞の例をこちらで用意し、新聞の例を見せた。そしてそれをもとに発表をして見せた。</li> <li>・書く前に割り付けのあるA4に下書きをした。例を見て書き方を理解した児童が半分ほどいた。「先生と同じようなことを書いてもいい?」と聞きに来る子には、「使っていいよ。」と話した。例を見てもよく分からない児童には、個別に指導したり、書き途中の下書きをこちらで確認して書き直させたり、付け加えさせたりした。すべての児童が行った。</li> <li>・第2時で終わった児童には、内容と関係する問題をつくるように話した。拡大で見やすく印刷し、それを発表で用いることにした。児童に見せたところ、意欲が増したようだった。</li> <li>・第3時で休んだ児童以外はすべて完成した。</li> <li>・休んだ児童、書くことが分からなくて困っている児童には、聞き書きをしたり、資料から書くところを見つけさせたりして一緒に書いた。</li> <li>・発表は、似ているテーマで前半後半の2組に分かれ、互いに聞きあうこと、3年生やお客さんが聞きに来ることを話した。</li> <li>・第4時で「発表メモ」に発表の「はじめ」と「終わり」を書いた。発表は新聞を読むことを中心にするように指導した。また、具体物があった方が聞く方は分かりやすいので、用意できる発表の児童にはいくつか持ってくるように指導した。</li> <li>・第5時に、体育館での発表の仕方を確認した。</li> <li>・実際に体育館で、児童が発表するリハーサルを行った。</li> </ul>	
<p>第四次 計画 2 (本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちに発表する。</li> <li>・しっかり聞き、コメントを書いてわたす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちに発表する場を設定する。</li> <li>・もっとも伝えたいことを写真や絵などを使って分かりやすく表現させる。</li> <li>・発表の最後に、簡単なクイズなど用意させ、発表を工夫させる。</li> <li>・発表では、話し方(声の大きさ等)聞き方(話している人の方を向き、静かに聞く等)を確認する。</li> </ul>
<p>第五次 計画1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動をふり返り、おもしろかったことや分かったことを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動してきたことや考えたことを確かにするために学習をまとめる活動を行い、ふりかえさせる。</li> </ul>
<p>実際 1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かったことやおもしろかったことを文に書いた。</li> <li>・発表したことの中で、よく分からなかった言葉の意味や、質問されて分からなかったことを辞書やパソコンで調べさせた。</li> </ul>	

## 8 本時の学習

- (1) 日時 平成29年11月29日(水)
- (2) 場所 4年教室
- (3) 目標
  - ・友だちの発表を聞き、ごみやその処理について詳しく知る。
  - ・自分たちが調べてきたことを、分かりやすく発表する。
- (4) 評価基準
  - ・ごみやその処理について詳しく知ることができる。
  - ・自分たちが調べてきたことを、相手意識を持ち、工夫したことを使って、分かりやすく発表することができる。

(5) 展開

	児童の活動	教師の働きかけ	評価
<p>導入 10</p>	<p>1. 本時の活動内容について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの発表を聞き、ごみやごみの処理について詳しく知ろう。</li> <li>・自分たちが調べてきたことを工夫し、分かりやすく発表しよう。</li> </ul> </div> <p>2. 発表の仕方、聞き方について確認する。</p> <p>3. 発表の進め方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表時間は前半、後半がそれぞれ25分発表する。</li> </ul> <p>[発表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞きたい人がある程度来たら何度でも説明する。</li> <li>・聞きに来た人に質問や感想を聞く。</li> </ul> <p>[聞く]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き終わったら附箋に分かったことなどを箇条書きなどで簡単に書き、発表の横の画用紙に貼る。</li> </ul>	<p>目的意識を持って意欲的に取り組めるように活動を明確化する。</p> <p>掲示物を使って復習する。</p> 	
<p>展開 30</p>	<p>4. 発表をする。</p> <p>前半が準備できてから始める。</p> <p>前半後半の間に3分間時間をとって交代する。</p>  	<p>それぞれの活動がうまく進むようにアドバイスをします。</p> 	<p>○相手を意識し、工夫したことを入れながら発表している。</p> <p>○分かったことや思ったことを附箋に書くことができる。</p> 
<p>まとめ 5</p>	<p>5. 終了したら自分の発表場所に戻って貼ってもらった附箋を読み、片付けを行う。</p> <p>6. 振り返りカードを書く。</p> <p>7. 次時の予告</p> <p>書いた新聞は廊下等に展示することと次時は振り返りを行うことを伝える。</p>		<p>発表したことや聞いたことにふれて書いている。</p>

9. 振り返りカード

「調べて発表しよう ごみの学習から見つけたごもん」

1 今日したこと 感想

大きな声でゆくり言えた。  
はいはいパソコンは金金根とどうメダルにリサイクルされ  
ると知った。  
富士山はごみがタタリのでびくりした。



「調べて発表しよう ごみの学習から見つけたごもん」

1 今日したこと 感想

いろいろな人ががんばって発表していた。みんな長いかんそを書いてくれた。大きな声で発表してきた。



「調べて発表しよう ごみの学習から見つけたごもん」

1 今日したこと 感想

3年生や先生がたにきちんとゆたかり聞いた  
てきよかったです。クイズも楽しくてきたので  
よかったです。



「調べて発表しよう ごみの学習から見つけたごもん」

1 今日したこと 感想

ペットボトルのリサイクルなども友だち  
ので聞いたのはじめてのことがたくさん  
しれましたよかったです。



・左に付けた児童が19人、真ん中に付けた児童が3人、理由は「はっきり読めたけど、はやく読んでしまったのでだめでした。」「説明のときもっとはっきり言いたかった。」「わたしが分からないことが書いてあったりくわしいことが書いてあったりしてよかった。(なぜ真ん中かは、もっと上手に発表したかったから)」

10. 児童の課題一覧

NO	課題	NO	課題
1	ビンのリサイクル	12	粗大ごみの処理施設
2	ダンピングボックスの役目	13	ペットボトルから服
3	ペットボトルのリサイクル	14	富士山のごみは減ったか
4	富士山のごみ	15	スチールはどうやってリサイクル どのくらい 何に 効果は
5	古い家電はどうなる	16	携帯パソコンのリサイクルの仕方
6	紙のリサイクルの仕組み	17	ペットボトルのラベル プラのリサイクル
7	古着のリサイクル	18	スチール缶のリサイクル
8	スラグの利用法	19	山梨県のごみの量 静岡とくらべる
9	ペットボトルのラベル もやせないごみ	20	灰はどうなるのか。最終処分場はどこか。1日に どのくらいどのくらい。いくらかかる。広さ。い っぱいにならないのか。気をつけていることは。
10	庭木のしょぶんの仕方	21	ペットボトルキャップはどうなる
11	スラグ アルミ缶のリサイクル	22	ずっとリサイクルできるのか リサイクルの問 題点

11. 新聞



**知ってる？粗大ごみの処理方法**

総合の勉強 大型ごみです。粗大ごみの家電製品は、ことを知りま 新製がごん したでれで粗 どん売り出さ 大ごみはこう れるのでこわ やて処理する れなくて買 のかと思て調 いかえる人多 べて見ました いです。このまま 粗大ごみとは だど粗大ごみで 家電製品家 いはいなまし 具楽楽などま います。はど のいろいろな ついてるので、

**粗大ごみの処理方法**

月 日 発行

**調べてみよう**

粗大ごみの処理のしつは、最初に粗大ごみは、二つに分けて処理します。は、再資源化し、次に破砕処理、ます、二つ目は、をします。そのついでを、次に破砕します。ます、このように、す。そして、粗大ごみを処理、選別をした しています。

**粗大ごみの量**

燃焼 資源回収 埋立 その他

粗大ごみの感想

調べてよかった。粗大ごみのことを調べて粗大ごみ、調べるのがわかった。粗大ごみのことを知りたいてす。

**鉄の大変なリサイクル**

たくさんリサイクルされる鉄

十月にかん 世界でも、きょうせい 多く利用され、さく課の中 る金、くち、村さんがり かりました。リサイクルについ 鉄は、書、て、教、る、く、れ、ま、し、た、そ、ご、ま、ま、さ、ミ、の、時、に、ス、チ、ル、か、ん、が、ま、た、鉄、に、な、る、こ、と、を、知、り、ま、し、た、鉄、は、た、り、鉄、は、変、わ、る、そ、う、で、

**鉄のリサイクルのしつ**

鉄を指されたごに分ける。い、に、固、め、る、四、種、類、二、ギ、ロ、チ、ン、と、分、か、れ、た、言、う、機、械、で、さ、び、品、が、の、り、ン、グ、の、加、エ、鉄、を、切、る、リ、ン、グ、の、加、エ、三、切、り、お、わ、れ、た、も、の、リ、後、種、類、③、プ、レ、ス、加、エ、

された物の④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿、

粗大ごみの処理のしつは、最初に粗大ごみは、二つに分けて処理します。は、再資源化し、次に破砕処理、ます、二つ目は、をします。そのついでを、次に破砕します。ます、このように、す。そして、粗大ごみを処理、選別をした しています。

**鉄のリサイクルの感想**

鉄のリサイクルの感想。鉄のリサイクルは、とても大切なことだ。鉄のリサイクルは、とても大切なことだ。鉄のリサイクルは、とても大切なことだ。

12. 考察 (授業後の研究会から)

- ・ 児童が見ていく視点を持たせるために、児童の課題一覧表を持たせて選ばせておくのと良かった。
- ・ 人間関係が出てしまっ、発表の時にあまり人数が集まらない児童もいたので、始めは前半後半のペア同士を見合うようにすると良かった。

・ 付箋というかたちで人が集まったか結果が児童の目に見えてしまうので、上記のような配慮が必要だった。以前のこのような発表の時は、行っていたのだが、指導を忘れてしまっていた。見に来た先生方の心配りがありがたかった。

もう一度詳しく調べる機会を作ると良いと思う。

(上記 第5次)

- ・ 一生懸命伝えたいという思いがあるので、見せ方、発表の仕方も大切にしていきたい。
- ・ 3年生が聞いたことは良かったと思う。
- ・ メモを見ながら発表することは4年生にとって大切なことと思う。
- ・ 自分で調べたいと思わせるところが良い。

・ 3年生は、3学期の「しりょうから分かる小学生のこと」の発表で、メモをなるべく見ないでしつかりやろうという気持ちを持って取り組んでいた。

・ 同学年ばかりではなく、大勢の人に聞いてもらえることが児童の意欲につながっていた。

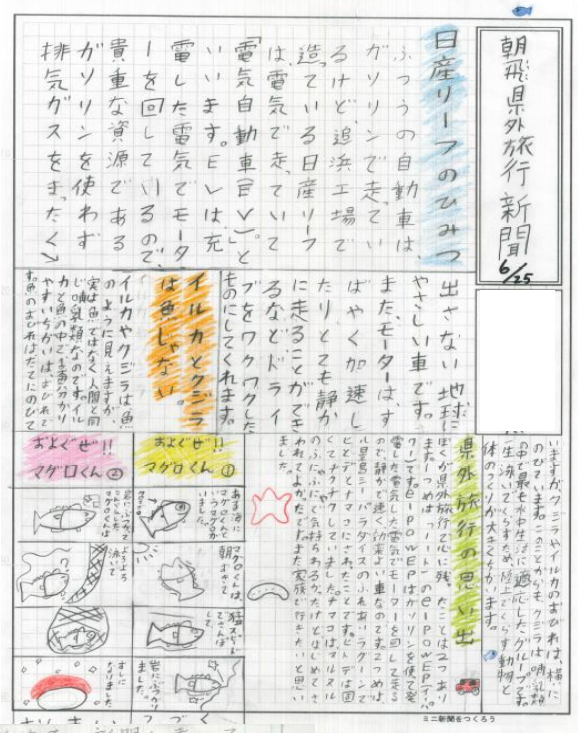
- ・ 国語と社会を合わせ、総合の楽しさを味わわせていた。全体の計画を作っていくのが楽しいのでそのように作っていくことが大切である。

- ・構想から支援していき、一つの学びに集約していく作業は、深い学びにつながるカリキュラムマネジメントではないか。

- ・環境について調べ学習をするつもりではいたが、6月下旬にクリーンセンターに見学に行ってから、構想を具体化し始めたので、雑になってしまったところがいくつか出てしまった。(学習カード、発表の進め方、まとめ方)
- ・「一人一人調べて新聞を作りたい。」という気持ちや服やビンなどの実物を用意してくる意欲、「小学生のための環境リサイクル学習ホームページ」の中で、見つけた資料の教え合いなどが見られたことがよかった。このクラスの、誰とでも楽しく話をしたり活動したりすることができるよい部分が生かされていた。

13. まとめ

- ・5年4月に行ったQ-Uでは、「親和的な学級集団」となっている。
- ・5年生になって、県外旅行を題材に分かったことや感想を各自、新聞を作って授業参観で発表したり、国語の活動報告書作りでは、調べたこと考えたことをグループで協力しながら作成したりして、活動を楽しんでいた。
- ・今年度は、国語部会の研究授業で、「明日をつくるわたしたち」に取り組み、話し合いで考えを交流させ、合意形成を図ったり、調査したり、文章を書いたりを積極的に行い、参観された先生方にほめられていた。児童の学習に対する意欲が、学力の向上につながるように今後さらに内容や方法を改善していきたい。



保健委員会の活動報告書

活動計画の  
初めに4月末に計画をした。そして次のように進めることにした。

4月	活動計画決め、石けん補充
5月	ポスター作り
6月	新聞作り
7月	スリッパ洗い

活動内容  
まず4月にせけんほじょうの役割を決めることにした。そしてせけんのような器を持ってきてその器の中にせけんを入れた。いつもせけんをこぼしてしまつたのかアイチがないかみんな考えた。たけとせけんをこぼしてしまつた。  
5月ポスター作りでは何月にやるか役割を決めた。そしてポスターに月の目標を書いた。そしてポスターは保健室の中にはあつたので、全校みんなに見てもらえないので、保健室前の廊下にはることにした。

活動内容(6月)  
6月に新聞作りをするために役割を決めることにした。先生方の元気のみなもとほかに、先生に聞き、集めた。先生方に聞いたことは、

六年生がまとめで新聞を書いて7月7月スリッパ洗いをすすり予定だったがその後下校近くで洗う人もかわらないかアイチも通りせけんは2学期になつてしまつた。

活動して考えたこと  
スリッパあらいがい計画にぞてできた。一番最後にせけんほじょうのとき、せけんをこぼしてしまつた。その上せけんですべてころんであつた。思いをしたら人もいた。たけでせけんを入れ牛乳をいれやすいいれかたにしてほしい。自分もせけんを入れるときほじょうに

努力

今後の活動について  
2学期、スリッパ洗いをすするときにおんなに、キレイなスリッパだと思つてほしい。  
スリッパ洗いは、前回やるつもりだったが時間があつたからいつものせけんほじょうになつた。計画通りに進めなかつたので2学期にスリッパ洗いをがんばりたい。